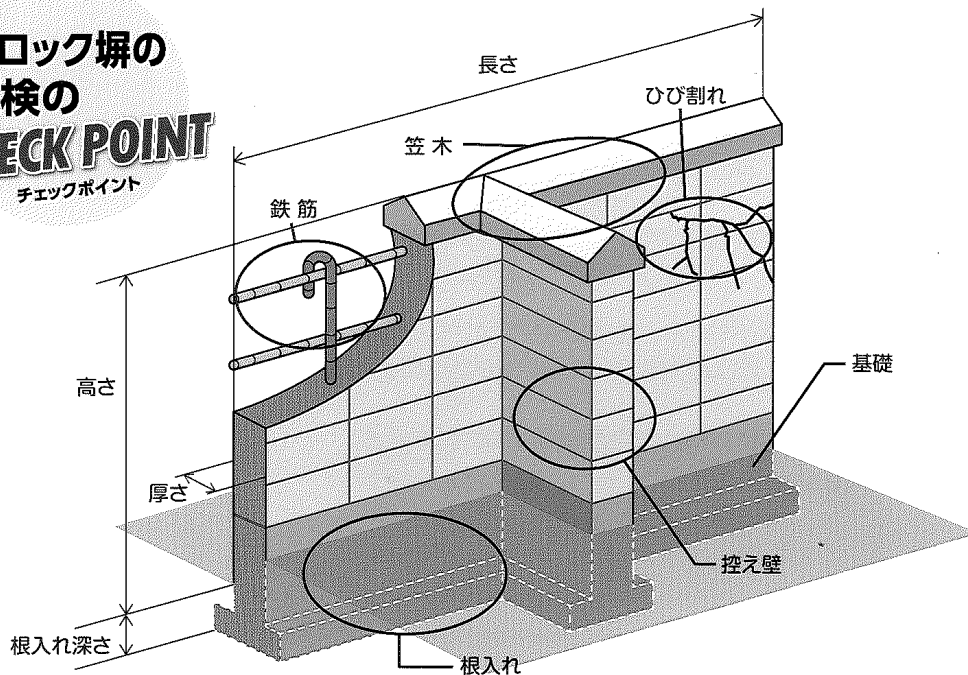


## ブロック塀の 点検の CHECK POINT

チェックポイント



以下の項目を点検し、一つでも不適合があれば危険なので改善しましょう。  
まず1～7をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や、分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

### ブロック塀の場合

- 1. 高さは地盤から2.2m以下か
- 2. 厚さは10cm以上か(高さが2mを超える場合は15cm以上)
- 3. 長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか(高さが1.2m超の場合)
- 4. 基礎があるか
- 5. 傾き、ひび割れはないか
- 6. 笠木にひび割れ、ぐらつきはないか
- 7. 塀全体にぐらつきはないか

そせき

### 組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック)の塀の場合

- 1. 高さは地盤から1.2m以下か
- 2. 厚さは十分か
- 3. 長さ4m以下ごとに、厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか
- 4. 基礎があるか
- 5. 傾き、ひび割れはないか
- 6. 笠木にひび割れ、ぐらつきはないか
- 7. 塀全体にぐらつきはないか

### 〈次の項目も大事なチェックポイントですので専門家に相談してみましょう〉

- 鉄筋が入っているか。特に、塀、基礎及び控え壁がそれぞれ鉄筋で十分定着されているか。
- 塀の上に建物や屋根などの工作物はないか。
- 土圧による塀の傾きはないか。
- 高さが1.2m超の場合、基礎の根入れ深さは30cm以上か。
- 組積造の場合、基礎の根入れ深さは20cm以上か。

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1 より 一部改

このパンフレットに関するお問い合わせ先 宮城県 土木部 建築宅地課 電話 022-211-3243